

# 畜産基盤再編総合整備事業による

## 管内の飼料生産基盤整備・利用状況

畜産試験場 放牧管理グループ 専門研究員 土手 和男

### 1 はじめに

畜産基盤再編総合整備事業は、(財)山口県農業開発公社が事業実施主体となり、低コストかつ安定的な畜産物供給体制の確立を図るため、飼料基盤に立脚した生産性の高い経営体群の育成と、これを核とした畜産主産地の再編整備を行うことを目的とした事業です。萩農林事務所管内では、平成9年度から北浦地区(萩市、阿武町、須佐町)、平成12年度から長北地区(田万川町、むつみ村、福栄村)でこの事業に取り組んできました。北浦地区では、約15haの自給飼料生産基盤(草地飼料畑の造成・改良)整備を行い、あわせて萩木間畜産団地(酪農1戸、肉用牛2戸、堆肥センター等)、阿武福賀団地(酪農1戸、堆肥センター)の整備、農機具導入等を行い、平成13年度に事業を完了しました。長北地区では、約17haの自給飼料生産基盤整備を行い、あわせて、畜舎4棟、粗飼料庫2棟、活性化施設1棟、家畜繫留施設1棟の整備および農機具導入等を行い、平成14年度(一部繰越)で事業を完了しました。

### 2 管内市町村の整備・利用状況

#### 1) 萩市

萩木間畜産団地に4.9haの飼料畑を造成、秋冬作イタリアンライグラス、夏作ソルガムの栽培体系で、団地への入植者2戸でロールペールサイレージに調製・利用しています。

【写真1,2】

#### 2) 阿武町

福賀地区に5.8haの永年性草地を造成・整備し、寒地型牧草の混播を行い、2戸でロールペールサイレージに調製・利用しています。



写真1



写真2

### 3)須佐町

4.5haの草地飼料畑造成改良および作業機械を整備しました。町は粗飼料供給センターを設置し、2.7haの飼料畑・作業機械の管理を和牛改良組合へ管理委託しています。秋冬作イタリアンライグラス、夏作ソルガムの栽培体系で、8戸の肉用牛繁殖農家が利用しています。

### 4)田万川町

事業参加者2戸で3.4haの草地を造成、うち3.1haの永年性牧草地では繁殖牛の放牧を行っています。【写真3】

### 5)むつみ村

9.3haの草地飼料畑造成改良を行いました。村有の割ヶ岳草地は、3.5haの永年性牧草地で、3戸の繁殖農家が採草利用しています。小国地区では、3.7haの草地改良を行い、採草利用しています。高佐地区では、1農家で0.3haの草地を整備し放牧利用しています。

### 6)福栄村

長沢台において3.8haの飼料畑造成改良を行いました。そのうち、3.6haは、従来10枚以上の小さなほ場を1枚約1haのほ場3枚に整備したもので、作業効率も良くなり、秋冬作イタリアンライグラス、夏作ソルガムの栽培体系で、ロールペールサイレージ主体で利用しています。【写真4】

## 3.おわりに

畜産基盤再編総合整備事業により管内6市町村で約32haの飼料基盤、農機具等が整備されました。農林事務所畜産部では、毎年飼料作物に係る研修会等を開催するほか、随時、現地指導を行う等、有効利用を図るための取り組みを行っています。今後も取り組みを強化し、自給飼料に立脚した肉用牛、乳用牛の振興に努めていきたいと考えています。



写真3



写真4